

うかぶヒト

"humanature"

構成と、ことば=TOKO
photos: Junji Takasago

本文はフィクションで、写真はイメージであり、両者の関係はありません。

君からすればおれなんて、スケベでダサイ、
ただのオヤジなんだろうけど……、
沈黙に耐えきれずそう口を開くと、
あらそんなことないわよ、と「あゆみちゃん」は
唇のはしっこで微笑んでくれ、

エクスタシーとしての中性浮力
●中性浮力とは、ダイビング用語でいう、
浮かりもせず、沈みもしない状態。または
体験、ダイビングにおける核心的状態。
あるいは、重力から、カラダから、解放され、
純粋な意識的存在になった状態。



「カラダは消えてなくなつて、
あたしは、意識だけになつて、
それってどういうあたしなんだろう……」



それってエッチじゃ
無理なのか、とおれは
言いそうになつたが、

かも知れないけれどね、潜つてみれば分かる
けど、動き回るのは例外で、ほとんどはた
浮かんでるみたいじゃないの、だからこっ
ちもニートラルにならないと同化できない
のよ、いつまでも存在しちゃうってしつが、
てもイルカは、

「えっ、泳ぐわ」

「でもね、あたりまえだけどイルカって人と泳
ぎたがる動物だってわけじゃなくてね、これ
は北カリブのホンジュラスのバンドウイルカ
なんだけど、あとはバハマのマタイルカと
か、遊んでくれるのはヒトに慣れている群れ
だけで、まずはそこまに行かなくちゃなら
ないでしょ」

イルカの話になると彼女は多弁になった。

「イルカってサカナじゃなくて哺乳類だから
ね、好奇心があるのよ、でもただぼーっと浮
いているだけと遊んでくれないの、ウター
ンしたり、宙返りして、おもむきそうやア
だと思わせないとね、わかる？ だからニ
ートラルじゃないといけないのよ」

「でないとほら、イルカみたいに泳げないじ
ゃない」
「さいきん自閉症の子供がイルカと泳いで治
つたとか、癒し効果が話題になつてるでしょ、
イルカがなにかの超音波をたすからなんて説
があるんだけど、あたしはそこは思わない、
せんぶ本人の問題なのよ」

「ボンベを背負つて海に入るじゃない、始めの
うちはいつもの腰痛とか、フィンのストラッ
プが足首に当たるとか、レギュレーターの排
気音とかが気になるんだけど、すこしづつ忘
れて、ニートラルになると、カラダが消え
るのよ、あ、きた、こゝろあたしは思つて、そ
う思つてももう、カラダが戻ってくることはな
いの」

「あたしは意識だけの存在になつて、体重は無
くて、イルカと一緒に、泳ぐ………ってうん
じゃないな、泳ぐって意識でないものね、
気づくと、移動してさるのよ」

「そういって彼女はしばらく写真に目を落とす。
あ、もつこんな時間、行かなくちゃ、と立ち上
がる。下まで送ると、

「きまうはありかと、楽しかったわ、えーと、
おれの名が思い出せないだ、
「シモカワさんだ、じゃあ、
と笑つて小さく手を振る、

それは店を使つてる偽名で、違ふんだ、ホン
トの名は、と喉までたどるときには、彼女は小
鳥が飛び去るよつにくるりと踵を返してあり、
あつというまに雑踏のなかに消えた。